

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 京都府 】

学校名【 木津川市立木津川台小学校 】

1 実践テーマ	【 Ⅲ 】
2 実施対象者	木津川市立木津川台小学校第6学年（3学級 109名）
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名（ 総合的な学習の時間 ）</p> <p>② 行事名（ ）</p> <p>③ その他（ ）</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名（ ）</p> <p>② その他（ ）</p>
4 目標 (ねらい)	<p>パラスポーツを通して、スポーツのよさや障害のある人への理解を深め、共に生きていくために必要なことは何かを考えることができる。</p>
5 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・パラリンピックで行われている種目について調べ、その特徴や競技者について知る。 ・シッティングバレーボールについて調べ、その特徴や競技者について知る。 ・障害者スポーツセンターの方を講師に迎え、シッティングバレーボールについての話を聞く。 ・競技者の人とともにシッティングバレーボールを実際に体験する。 ・体験したことの感想等を交流し、質疑応答をする。 ・まとめとして「パラスポーツ新聞」を作成し、発表、交流する。

6主な成果	<ul style="list-style-type: none"> ・児童がこれまであまり関わりのなかったシッティングバレーボールについてお話を聞くだけでなく、実際の体験を通して学ぶことができ、シッティングバレーボールに対しては勿論、パラスポーツ全体について興味・関心を高めることができた。 ・日本代表クラスの選手や日本代表を指導するコーチのお話やプレーに間近で触れることができ、本物のすごさを実感するとともに、その人々の努力や苦労についても理解することができた。 ・障害のある人と共にプレーする体験を通して、パラスポーツについての理解を深めることに加え、障害のある人と共に生きるために必要なことなどを考えることができた。
7実践において工夫した点 (事業の特色)	<p>単なるお話を聞いたり、パラスポーツを体験するだけにとどまらないよう、事前に競技について調べたり、シッティングバレーボールの競技体験後に、各学級で話し合いの場を設定し、「今後自分達にできることは何か」を個別やグループ単位で考えたりさせるようにした。</p>
8主な課題等	<p>この学習を通して学んだことをもとに、児童それぞれが何ができるのかについて考えることはできたが、その考えたことをいかに実践することができるかが大切になってくる。</p> <p>(例えば、自身が感じた感動や高まった関心を自校の他の学年や家族にいかに伝え、その思いを共有できる人のつながりを広めることができるか等)</p>
9来年度以降の実施予定	<p>日本代表クラスのコーチや選手のお話やプレーに間近で触れることは、児童にとっても貴重な体験となる。一過性の取組にならないように気をつけながらも、もし可能であるならば、来年度も違う学年の児童に同様の体験をさせることができれば、と考える。</p>

【取組の様子】(写真を添付)

